



只野 敏彦 議員 11ページ

- 1 新規就農対策について
- 2 食糧危機への備えについて
- 3 町内の環境美化について



山本 奈央 議員 12ページ

- 1 豊かな自然と景観を保持し、安心・安全に暮らしつづけるために



田村 幸紀 議員 13ページ

- 1 部活動地域移行の現状と進捗



佐藤 幸一 議員 14ページ

- 1 町が設置する券売機について



中河 つる子 議員 15ページ

- 1 空き家の利活用について
- 2 福祉施設、医療機関に働く人が、コロナワクチンを受けやすくするため、事業所に支援を



深沼 達生 議員 16ページ

- 1 阿部町長の2期目の公約達成状況と今後の展望について



川上 均 議員 17ページ

- 1 健康保険証廃止によるマイナ保険証及び資格確認書の今後の対応について問う
- 2 死亡・相続ワンストップ窓口サービスの推進について問う
- 3 町民バスの今後について考えを問う



鈴木 孝寿 議員 18ページ

- 1 高齢者等住宅におけるエアコン設置助成について
- 2 プレミアム商品券事業における効果について
- 3 今後の町づくりについて

町政を問う！

一般質問

9月定例会では、8人の議員が16項目にわたり一般質問を行いました。

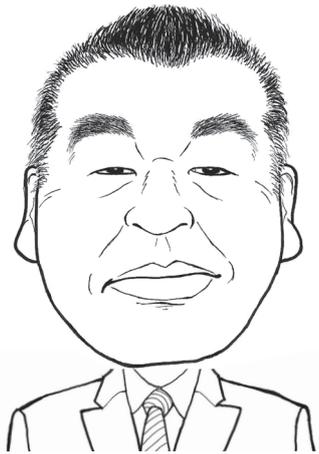
※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。なお、一般質問の全文はホームページでご覧になれます。(9月定例会の内容は、12月末に掲載予定です)

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関(町長や行政委員会)にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。

新規就農対策について



只野 敏彦 議員

町長 新規就農に関して関係機関と協議していく

問 町内の農業者から、後継者等の担い手不足のため、農業者人口が減少し、今後10年間でかなり多くの農地が余り、放棄地が増えるので対策しなければならぬという話を聞いているが、町としては、そのような認識を持っているのか伺う。

また、新規就農対策として、足寄町ではパンフレットを作成し、多くの奨励金を出しているが、本町ではどのようにしているのか。また、今後の拡充についてどのように考えているのか。



町長 今のところ遊休農地は発生していないが、今後10年後を考えると多様な担い手の育成や確保は、今後の重要な課題として認識している。

新規就農に関しても補助金の上乗せやパンフレットの作成なども関係機関と協議していきたいと考えている。

食糧危機への備えについて

町長 地域のなかで融通し合う

問 農業者からは、食糧危機に備えて町民の方々も家庭菜園を作るなどの自助努力をすべきとの意見を聞くが、町としてはどのように考えているのか。

町長 食糧危機に関しては国の政策によるものが大きく、清水町においては自己給率2000%であるので、家庭菜園で対応することは難しいが、地域の中で融通していくということは可能であると考えている。

町内の環境美化について

町長 安全で快適な生活環境の維持に努めていく

町長 定期的な巡回と周知活動を推進して町民の安全で快適な生活環境の維持に努めていく。

空き家、空き店舗に面する歩道の雑草の駆除・維持管理は建設課で行っていく。

問 町民から、町の雑草が気になるのでどうかしてほしいという声を聞く。猛暑もあり、雑草がいたるところで伸びている。特に歩道、空き地、空き家などが顕著であるが、この対策について町の考えを伺う。

